

取扱説明書

バーディーティラー用作業機

“ 往復刈牧草モア ”

B90RL



1732-70004



- 取扱説明書本文中に出てくる重要危険部分は、製品を使用する前に注意深くお読みいただき、十分理解してください。
- 本製品ご購入の際には、販売店より安全のための使用方法についての説明をお受けください。
- 取扱説明書はいつでもごらんになれるよう、品質保証書とともに大切に保管してください。

株式会社 オーレック

目 次

項 目	頁
《はじめに》	1
《重要なお知らせ》	1
《本製品の規制について》	1
《保証・契約書・免責事項》	1
《定義とシンボルマークについて》	2
《安全に作業をするために》	2
《各部の名称》	4
《各部のはたらき》	5
《仕 様》	6
《上手な作業のしかた》	6
作業前の始業点検	6
牧草刈り作業	7
《保管に関して》	8
《各部オイルの点検・交換しかた》	8
ギアオイルの注油・交換	8
《刈高調整》	8
《ナイフの点検・交換》	9
ナイフの点検・交換	9
ナイフの交換	9
《アタッチメント取付要領》	10
《同梱品明細》	11
《定期自主点検表》	11
《刈り取り性能診断》	12
《機械を他人に貸すときは…》	12

《はじめに》

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。

この取扱説明書は本製品を常に最良の状態に保ち、安全な作業をしていただくために、正しい取扱方法と簡単なお手入れ方法について説明してあります。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書を良くお読みいただき、安全な運転作業と正しい取扱方法を十分理解し、安全で能率的な作業にお役立て下さい。



警告

又、お読みになった後はいつでも取り出してご覧になれるよう大切に保管し、本製品を末永くご使用頂けますようご活用下さい。

《重要なお知らせ》

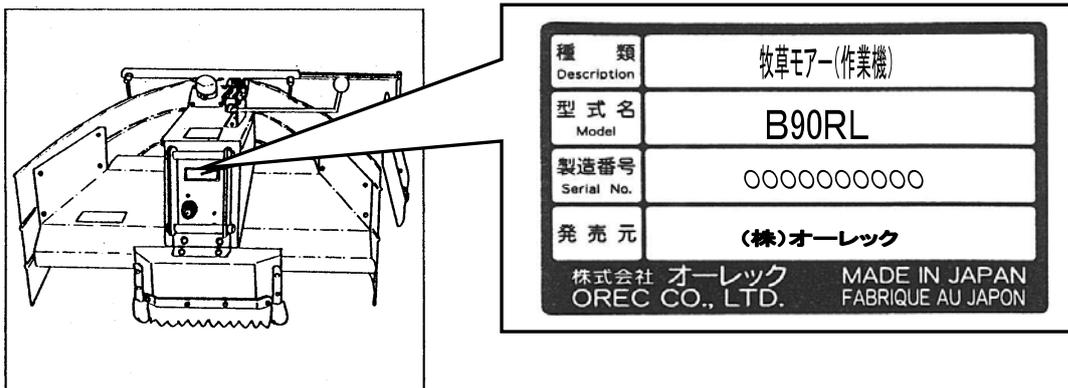
- 性能・耐久性向上及びその他諸事情による部品等の変更で、お手元の製品の仕様と本書の内容が一部一致しない場合があります。
- 本書の内容の一部又は全部を無断で複製複製(コピー)する事は、法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となりますので予めご注意ください。
- 本書では説明部位が具体的に理解できるよう、写真、イラストを用いています。説明部位以外は省略されて表示されている場合があります。
- 本書は日本語を母国語としない方のご使用は対象としていません。

《本製品の規制について》

本製品は農業用機械として開発しておりますので、これ以外の用途(レンタル等、作業者が特定されないような使われ方)では使用しないで下さい。この場合には保証の対象外となる場合があります。又、地を這うように伸びるツタ、ツル等の草については刈取れない場合もあります。

《保証・契約書・免責事項》

- 本書とは別に本製品には品質保証書が添付されています。必ず品質保証書裏面の保証規約を良く読んで理解しておいて下さい。
- 本製品の保証期間は、新品購入から **1ケ年**、又は **50使用時間**(請負業務用については **6ケ月間**、もしくは **50使用時間**)の内どちらか早い時点で到達した方となっています。
- 全ての注意事項を予測する事は不可能です。製品を使用する際には作業側も安全への配慮が必要です。
- 本書を読んでも判らない場合には勝手な操作はせず、必ず製品お買い上げの販売店(以降販売店)までご相談下さい。
- 製品を安全に効率よくご使用し続けて頂くためには定期的な点検・整備が不可欠です。「定期自主点検表」及び「年次点検表」に記載のある 定期的な点検・整備を必ず最低毎年1回は販売店まで依頼しましょう(有料)。これらの点検・整備を行わなかった事及び仕様を越えた使用・改造等本書に従わなかった事に起因する故障・事故に関しては保証の対象外となります。
- ご不審な点及びサービス等に関するご質問は、販売店までご相談下さい。その際、『商品型式と製造番号・搭載エンジンの型式名(エンジン本体に刻印又は貼付されています。)]を併せてご連絡下さい。



◎この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年と致します。但し、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合もあります。

《定義とシンボルマークについて》

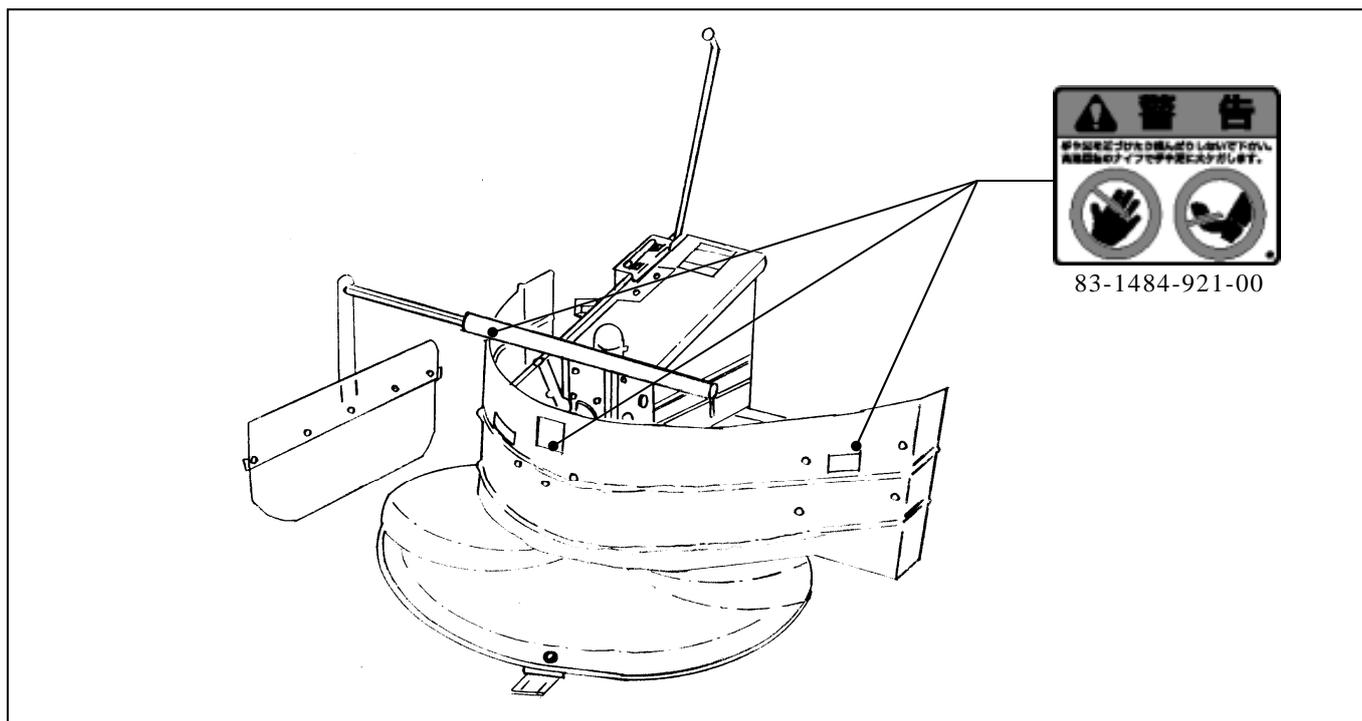
本書では、危険度の高さ(又は事故の大きさ)に従って、次のような定義とシンボルマークが使用されています。以下のシンボルマークがもつ意味を十分に理解し、その内容に従って下さい。

シンボルマーク	定 義
 危 険	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 警 告	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 注 意	その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示します。また、遵守又は矯正しないと、製品自体に損傷を与えるものも示します。
参 考 :	操作、保守において知っておくと得な製品の性能、誤りやすいミスに関する事項を示します。

《安全に作業をするために》 …重要危険項目…

(1) 警告表示マーク

- ・以下の危険表示マークは本項目内における重要危険事項の中からとくに重要なものとして厳選されており、本体に貼付されています。ご使用前に必ずお読みいただき、十分理解して必ず守って下さい。
- …危険表示マークが見えにくくなった場合には、貼り変えるなどして常にはっきり識別できるようにしておいて下さい。 〈P 1 1…消耗品明細参照〉
- …本機はガソリンを燃料としており、作業中はもちろん機械のそばでのくわえたばこや焚き火等の裸火照明は引火の危険がありますので絶対にしないで下さい。



(2) 作業前の注意

- ・本機の運転に際しては、使用上の注意事項を十分理解し、安全運転を徹底して下さい。
- ・所有者以外の人には使用しないで下さい。
- ・過労、病気、薬物の影響、その他の影響により正常な運転操作が出来ない時には作業を控えて下さい。又、酒気を帯びた人、妊婦、若年者、未熟練者も作業をしないで下さい。

▲警告 機械の回転部に巻き込まれたりしないよう、作業衣は長袖の上着に裾を絞った長ズボンを着用し、滑り止め(スパイク)のついた安全靴や帽子又は、ヘルメット、防護眼鏡、スネ当て等を必ず使用して下さい。

▲注意 作業を開始するときには、周囲に人や動物、車両等が無いことを確認し、作業中は半径10m以内にこれらのものを近付けないで下さい。

▲警告 安全のためのカバー類はもとより、標準に装備されている部品を外しての運転は非常に危険です。安全のためこれらのカバー類、部品は必ず装着した状態で使用して下さい。

▲警告 ナイフの脱落は危険です。ナイフのセットボルト・ナットをしっかりと締めて下さい。又、古いものは新しいものに取り換えて下さい。

▲警告 ナイフ交換のための開閉カバーがあるものは、開いたままの使用は危険です。必ず閉めた状態で使用して下さい。

▲警告 小石やその他の異物は事前に取り除き、障害物は事前を目印となる物をつけた後で作業を始めて下さい。又このような圃場では安全のために通常よりも高刈りで作業を行って下さい。ナイフが欠けたり石等の異物が飛散し危険です。

▲警告 10°を超える傾斜地での作業や、トラック搭載用ブリッジの勾配が15°を超えると危険です。安全作業のため、これらの勾配角度未満でご使用下さい。

▲警告 暗い時、視界が悪いときの使用は危険です。周囲の状況が十分に把握できない環境では使用しないで下さい。

注意 安全作業の妨げとなるような本機の改造(夜間作業用のライトの装着、ナイフカバーの切断等)は絶対にしないで下さい。これらの改造に起因する事故、及び不具合に関しては一切の責任を負いかねます。

(3) 作業中の注意

- ・安全のため、余裕を持った運転を心掛け、急発進・急停止・急旋回はしないで下さい。

▲注意 健康のため、1時間以上継続して製品を使用することは避けてください。必ず1時間毎に10分程度の休息を取るようして下さい。

- ・バックする時は、子供や動物がいない事を確認して機械と壁との間に挟まれたり、崖からの転落等がない様足場に注意して下さい。
- ・ベルトスリップによる異常な音・匂い・発熱は火災の原因です。その様な時は、すぐにエンジンを停止して点検・修理して下さい。

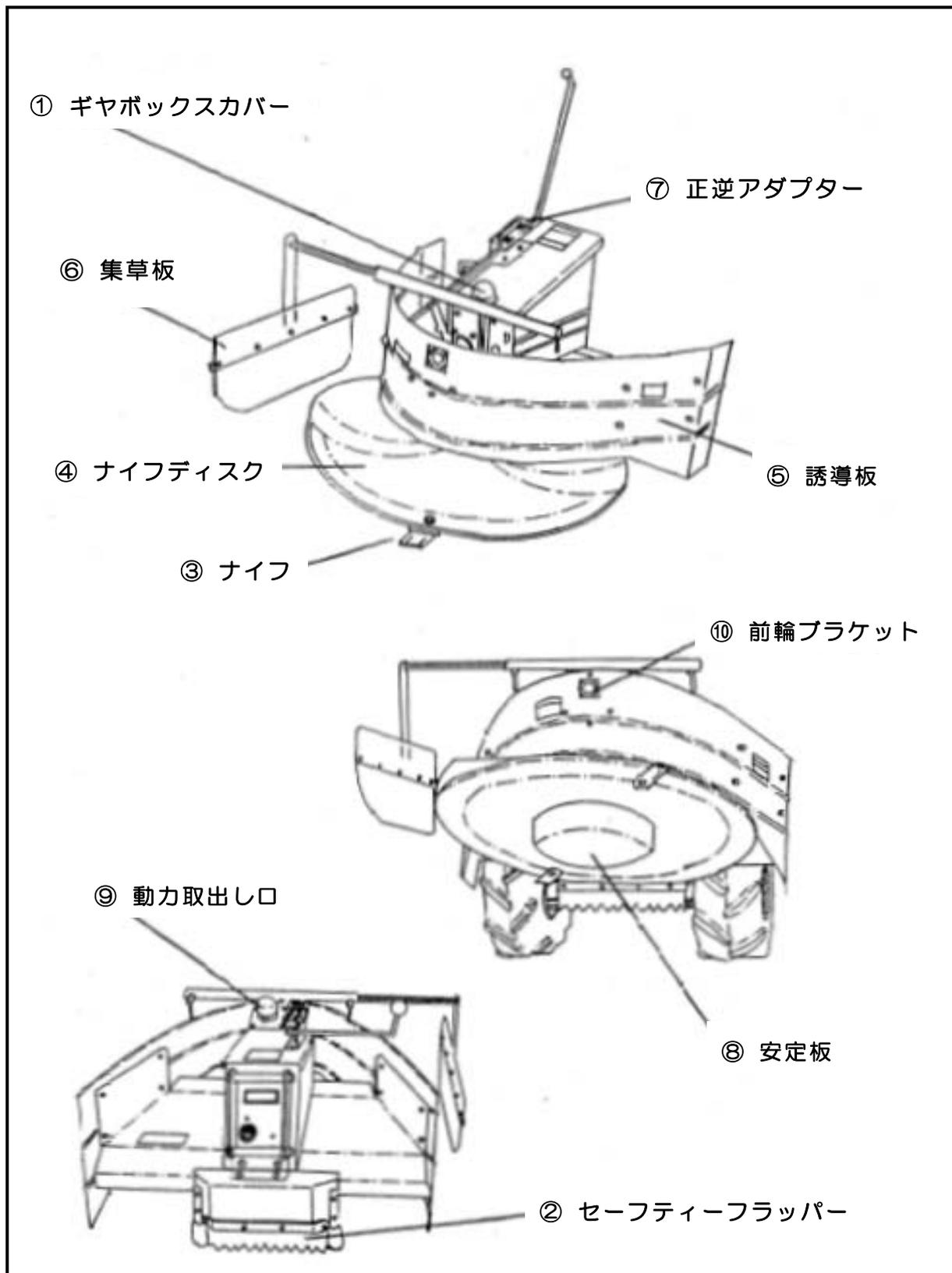
(4) 点検・整備時の注意

注意 品質及び性能維持のためには定期点検が不可欠です。始業・月次点検は所有者ご自身で、年次点検は販売店(有料)へご依頼下さい。定期点検を怠ったことによる事故・故障については責任を負いかねますのでご注意下さい。

▲警告 ベルトやナイフ部の安全カバー、及び飛散防止用のカバーの破損は危険です。作業中に異常を感じた箇所はそのままにせず、必ず作業を中断して点検、また作業終了後に再度点検し、必要な修理をしておいて下さい。

- ・取り外した回転部のカバー類は、必ず元の位置に正しく取付けて下さい。
- ・ナイフセットボルトは安全の為、ナイフ交換の際には一緒に新品と交換して下さい。

《各部の名称》



《各部のはたらき》

①ギヤボックスカバー

このカバー内にギヤボックスが有ります。使用前にギヤボックスへ注油して下さい。

②セーフティーフラッパー

セーフティーフラッパーより、後方（作業者）への異物の飛散を防止する為のものです。

▲警告 セーフティーフラッパーが破損した場合は、ただちに取り替えて下さい。
又、絶対に外したまま使用しないで下さい。

③ナイフ

往復刈専用ナイフとなっており、ナイフディスクの回転によって牧草を刈取します。

▲警告 ナイフディスクより、ナイフが遠心力によって振り出される為、作業中は絶対作業機側に人、物を近づけないで下さい。

④ナイフディスク

ナイフディスクの回転によってナイフを作動させます。

▲警告 ナイフディスクより、ナイフが遠心力によって振り出される為、作業中は絶対作業機側に人、物を近づけないで下さい。

⑤誘導板

刈取った牧草を誘導版に添って機械の外側に出します。

⑥集草板

刈取った草をこの集草板で受けて筋状に集草します。

30cm～40cm 位の短い牧草を刈取る場合に使用します。

⑦正逆アダプター

ナイフディスクの回転を左右に切り換える為の、レバーです。

⑧安定板

前輪が無い為、安定板を上下させる事により刈高を調整します。

⑨動力取出し口

別売：アタッチメントブリンガー（BR-7）取付けの場合に使用。

⑩前輪ブラケット

別売：BR7と同時に前輪RL2を取付ける場合に使用。

※注意：刈高調整に関しては、安定板を調整して下さい。（P8参照）

《仕様》

名 称	バーディーモア（往復牧草刈機）	
型 式	B90RL	
全長×全幅×前高(mm)	860×900×530	
刈 幅(mm)	900	
重 量(kg)	51	
刈 高(mm)	25～75（出荷時35mm）	
ナイフ(枚)	2	
刈刃形状	フリーナイフ（両面）	
ハンドル	上下（3段）、左右（中心と左右に2段ずつ）可変	
ブレーキ	駐車、ナイフブレーキ装備	
作業能率 B×80にセット時 （a/h） （直線刈時）	1速	7.5
	2速	15.7
	3速	28.5
	4速	59.1

※本仕様は改良のため予告なく変更する事があります。

《上手な作業のしかた》

作業前の始業点検

安全で快適な作業を行うために「定期自主点検表」〈P11参照〉に従って始業点検をおこない、異常箇所は直に整備をしてから作業を始めて下さい。

▲警告 本機に貼られている注意、危険マークも良く読んで下さい。

牧草刈り作業

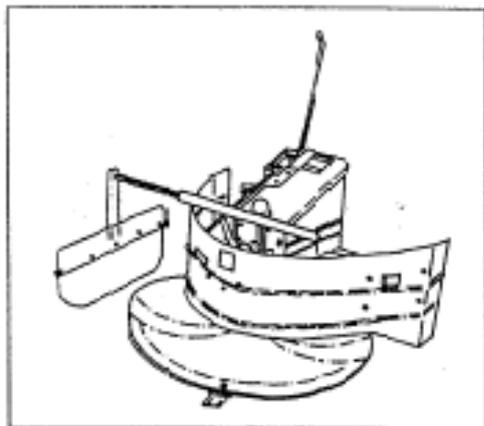
▲ 警告

- 圃場内の障害物、側溝、軟弱な路肩、傾斜(限界傾斜角度 10°)のあるところ、地面の凸凹等危険な場所には目印を立てて誤って接近しないように注意して下さい。
- ナイフにからみ付いた草や針金その他の異物を取り除く際には、必ずエンジンを停止してから行って下さい。
- 作業範囲以内に人(特に子供)が入り込まないように、草刈り作業中である旨の立て札やガードロープを張るなどし、半径10m以内にこれらのものを近づけないで下さい。

注意

- ・ 作業衣は、長袖の上着に裾を絞った長ズボンを着用し、滑り止めのついた長靴や帽子又は、ヘルメット、防護メガネを必ず着用して下さい。
- ・ 切り株、石、針金、空カン、棒切れ等の異物は作業前に取り除いて下さい。
- ・ 石等異物の多い圃場での作業については、これらの飛散による被害を防止するため高刈りをする等、安全に十分注意して下さい。
- ・ 本機は、刈取部からの異物の飛散を最小に抑える様設計されていますが、構造上刈取部前方については、異物飛散の可能性があります。このため、人・建物等異物の飛散による事故が想定されるものに向かっての作業は行わないで下さい。

参考：初めて本機を使用するときは、石等の異物の無い平坦地でゆっくりと刈り跡が少し重なるようにまっすぐ刈って下さい。

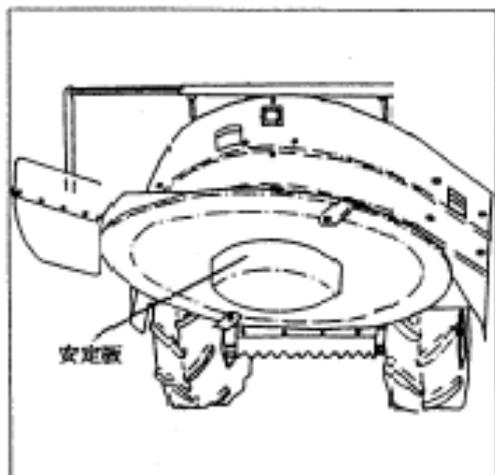


- ① 牧草刈り作業をするときは、ナイフディスクは常に下げた状態で使用して下さい。

※注意：安定板（下左図参照）を地面に接地した状態で作業を行って下さい。

- ② 作業状況に合わせて安定板の高さを調整して下さい。

※注意：刈高を低くし過ぎると、状況により石等の異物に当たり、飛散する恐れがあります。少し刈高を高くして作業して下さい。



《保管に関して》

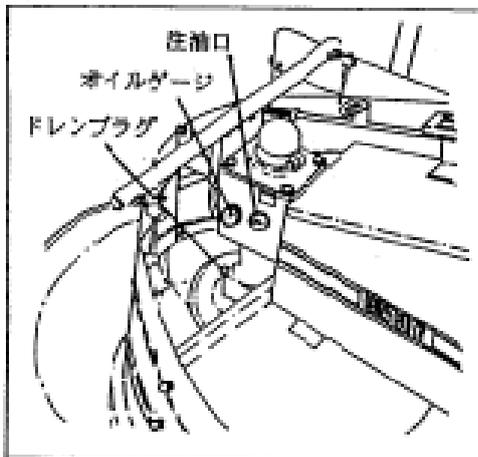
- ナイフディスク部周囲の草屑は乾かない内にホース等で加圧した水で清掃を行うと比較的に簡単に洗い落とすことができます。
- 清掃終了後はカバー等をかけ、屋根のある乾燥した場所に保管して下さい。

《オイルの点検・交換のしかた》

注意

- 出荷時本機にはオイルは入っておりません。使用前には必ず指定の箇所に指定のオイルを指定量入れて使用して下さい。
- 定期的なオイルの交換は、本機を常に最良の状態で使用する為に是非必要です。

ギヤオイルの注油・交換



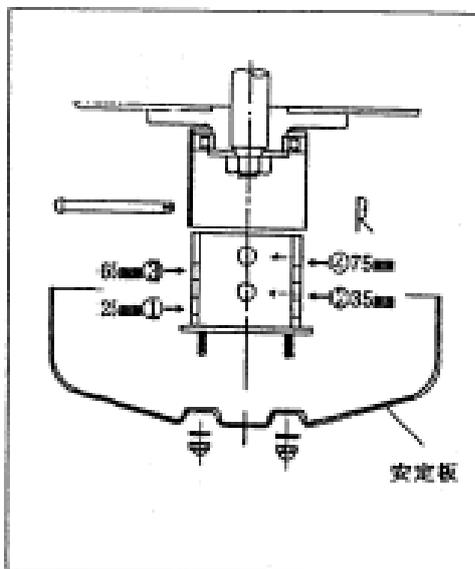
◎注油…

ギヤボックス左側面の注油口よりギヤオイル (#90)を0.4ℓ入れて下さい。

◎交換…

初回は30時間目、それ以降は100時間運転毎を目安に交換して下さい。

《刈高の調整》



警告

刈高調整を行う場合は、必ずエンジン停止した後、安全を確認して行って下さい。

- 安定板を固定している3個の袋ナットを外し安定板を外し、中にセットしている丸頭ピンを抜き、所要の位置にセットして下さい。その後、安定板を確実に元通りに袋ナットで固定して下さい。ピンのセット位置により刈高は下のよう調整されます。

①…25mm ②…35mm ③…65mm ④…75mm

《ナイフの点検・交換》

ナイフの点検・交換

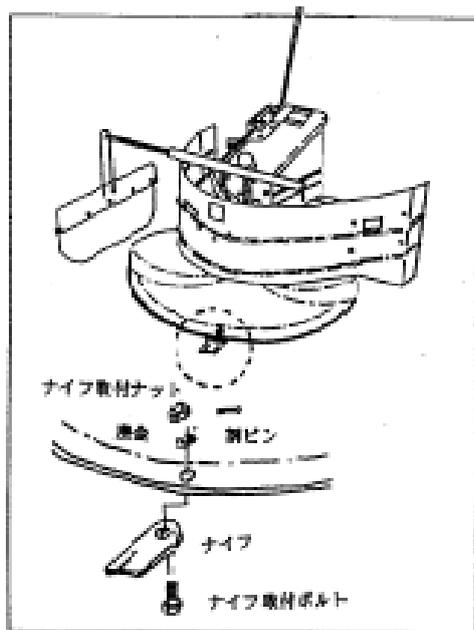
■作業を安全に行うため、ナイフの作業前点検をおこなってください。■

警告

- ・ 前回の作業時に縁石や木の根等にナイフが当たり、ナイフの曲がりや欠損が生じていないか、又、ナイフが摩耗していないか作業を始める前に点検して下さい。
- ・ ナイフの摩耗、割れ、曲がり、欠損等を放置したまま作業を続けると、作業中にナイフが折損して飛び出し、作業者や付近にいる人に当たったりして重大な人身事故を招く原因となったり、振動によりエンジンからの出火原因となる場合があります。
- ・ ナイフは高速で回転します。一本でもナイフが欠けたり、折損したりするとそれだけで振動の原因となります。振動したまま作業を続けると危険なばかりでなく、振動により本機各部にヒビや割れ発生の原因となり、本機寿命を著しく縮めます。
- ・ ケガを避けるため、点検・交換は丈夫な手袋をつけるか、又は布切れでナイフの先端を包んで行って下さい。

《ナイフの点検・交換のしかた》

ナイフの交換



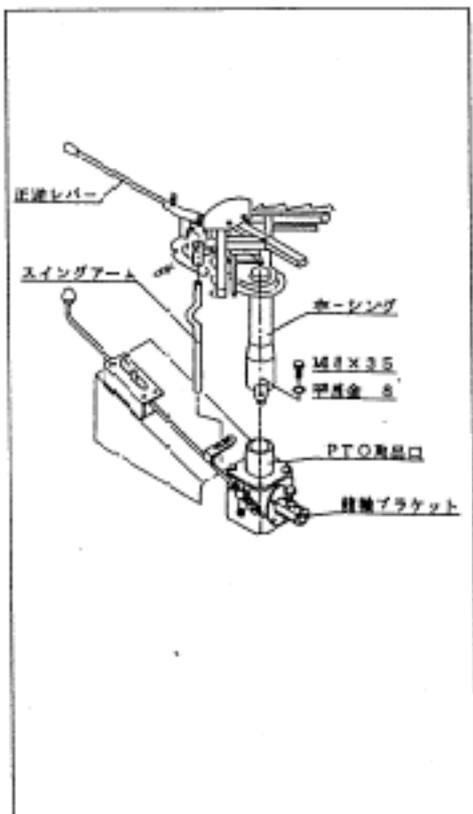
- ①ナイフの交換・修正等の作業は適切な工具と整備技術をおもちの方が実施して下さい。
 - ②ナイフ締め付けボルト、ナットも摩耗します。ナイフの交換時には必ずナイフ締め付けボルト、ナットも同時に交換するようにし、決して他のボルト、ナットで代用しないで純正品を使用して下さい。
 - ③作業をする時は手を滑らさないように十分注意して下さい。
- ★交換の際には元の通りにしっかりとナイフ締め付けボルトを割ピンにて固定して下さい。

- ・ ナイフの割れ、曲り、磨耗を点検して下さい。
- 下図のように以上な状態になっていたら交換して下さい。

新 品	交 換		
	欠損 	曲がり 	摩耗(修正限界)

参考：乾燥した土や砂を含んだ場所での使用はナイフの磨耗が早い為、頻繁に点検して下さい。
予め予備のナイフをお買い求め頂き、手元に置かれておく事をお勧めいたします。

《アタッチメント取付要領》



別売：プリンガーBR7 (No: 5-1762-980-000)

- ①ギヤボックス上部のPTOキャップを外し、上蓋の対角線上のボルトを外してプリンガーのホーシングを差し込み、付属のボルトで締め付けます。

参考：

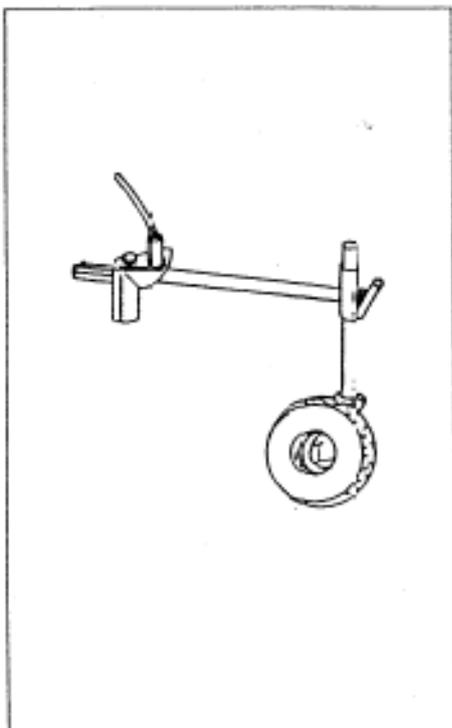
セットしにくい場合には、ナイフディスクを少し廻すと入り易くなります。

- ②スイングアームを正逆アダプターのガイドに差し込み、上のプリンガーの取付けパイプに入れ、スナップピンで固定します。

- ③プリンガーの正逆レバーを左に振ると正逆アダプターは押し上げられ、ロータリーは右回転します。

参考：

プリンガーを取付けたら正逆レバーの操作で、左右を切り替えて下さい。



別売：前輪RL2 (No.5-1762-515-000)

- ①ギヤボックス前面の前輪ブラケットに締め付けボルトで固定します。

- ②前輪左右レバーは、本体ハンドルの使い易い所にセットします。

- ③前輪は、移動用に使用したり、ソルゴー、コーン等の刈取の場合、右刈り、左刈りと必要に応じて方向を左、中央、右と固定できます。

《同梱品明細》

No.	部品名	規格、寸法	個数/台
1	取扱説明書		1
2	品質保証書		1
3	ナイフ取付ボルトセット		2

《消耗品明細》

No.	部品名	部品番号	個数/台
1	ナイフ	84-1732-821-00	2
2	ナイフ取付ボルトセット	83-1565-835-00	2
3	安定板	0253-55110	1
4	ナイフ警告マーク	83-1484-921-00	6

《定期自主点検》

- ・ 点検や整備を怠ると、事故の原因となる事があります。正常な機能を発揮させ、いつも安全な状態であるようにこの「定期自主点検表」を参考に点検を行って下さい。
- ・ 年次点検は一年に一回、月例点検は一ヶ月に一回、始業点検は作業を開始する前に毎回点検を行うようにして下さい。

項目	点検内容	点検実施時期		
		始業	月次	年次
伝達装置等	①異音、異常発熱及び作動。		○	○
	②油量、汚れ。			○
	③油漏れ。	○	○	○
本体	亀裂、変形及び取付ボルト・ナットの弛み、脱落。		○	○
	カバー			○
	表示マーク		○	○

《刈取性能診断》

- もし、次のような現象が発生した場合には、取扱説明書を参考にして適切な処置をして下さい。

現 象	原 因	処 置
刈草がうまく放出しない。	草が湿っている。	草が乾燥してから作業する。
	草が長い。	刈高さを高くして、二度刈する。
	刈高さが低い。	刈高さを高くする。
	エンジン回転数が低い。	最高回転数にする。
	作業速度が速い。	作業速度を落とす。
刈残しが出る。	作業速度が速い。	作業速度を落とす。
	エンジン回転数が低い。	最高回転にする。
	ナイフの摩耗、破損、欠損。	新しいナイフと交換する。
	ナイフカバー内への草屑の堆積。	ナイフカバー内面を清掃する。
	草が長い。	二度刈りをする。
土削りを発生する。	刈高さが低い。	刈高さを高くする。
	回転速度が速い。	回転時の速度を落とす。
	地形にうねりがある。	草刈りパターン(刈取方向)を変える。
	地形に起伏(凸凹)が多い。	刈高さを高くする。
	ナイフの曲がり。	新しいナイフと交換する。
振動が大きい。	ナイフのバランスが悪い。	新しいナイフと交換する。
	ナイフの損傷。	新しいナイフと交換する。
	ナイフディスクの変形。	新しいナイフディスクに交換する。
	新旧のナイフが混在している。	新旧のナイフは混在させない。
刈り取り作業負荷が大きい。	エンジン回転が低い。	エンジン回転を上げる。
	作業速度が速い。	作業速度を落とす。
	ナイフの回転軸周りに草が堆積、又は巻きついている。	ナイフをきれいに清掃する。
	草が長い。	刈高さを高くして、二回刈りをする。
	刈高さが低い。	刈高さを高くする。

※わからない場合は、お買い上げいただきました販売店にご相談下さい。

《機械を他人に貸すときには…》

所有者以外の人には使用させないのが原則ですが、やむを得ず機械を他人に貸すときには、**取扱い方法を説明し、「取扱説明書」をよく読んでもらい、取扱い方法や安全のポイントを十分理解してから作業をするように指導して下さい。**

※機械と一緒に「取扱説明書」も貸して上げて下さい。



本社.広川工場 〒834-0195 福岡県八女郡広川町大字日吉 548-22
TEL (0943)32-5057
FAX (0943)32-3518

仙台営業所 〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切 2-1-15
TEL (022)255-3009
FAX (022)255-3039

関東営業所 〒346-0106 埼玉県久喜市菖蒲町菖蒲 6004-1
TEL (0480)87-3008
FAX (0480)87-3009

長野SC 〒387-0012 長野県千曲市桜堂字西沖 335-1
TEL (026)273-5686
FAX (026)273-5687

名古屋営業所 〒491-0833 愛知県一宮市平島 1-1-16
TEL (0586)77-7002
FAX (0586)77-7003

岡山営業所 〒700-0951 岡山県岡山市北区田中 123-104
TEL (086)245-2568
FAX (086)245-2569

福岡営業所 〒834-0195 福岡県八女郡広川町大字日吉 548-22
TEL (0943)32-4778
FAX (0943)32-3518

鹿児島営業所 〒899-6404 鹿児島県霧島市溝辺町麓 843-6
TEL (0995)58-3991
FAX (0995)58-2491